



## ハードウェア モニタリング

- システム モニタリング CLI コマンドのチートシート (1 ページ)
- シャーシの管理 (2 ページ)
- ブレード サーバの管理 (4 ページ)
- ラックマウント サーバの管理 (5 ページ)
- ファンモジュールのモニタリング (7 ページ)
- 管理インターフェイスのモニタリング (9 ページ)
- ローカルストレージのモニタリング (12 ページ)
- グラフィックスカードのモニタリング (26 ページ)
- PCI スイッチのモニタリング (28 ページ)
- Transportable Flash Module と スーパーキャパシタの管理 (29 ページ)
- TPM モニタリング (30 ページ)

## システム モニタリング CLI コマンドのチートシート

次の表に、システム内の管理対象オブジェクトをモニタするために使用する Cisco UCS Manager CLI コマンドの要約を記載します。

管理対象オブジェクト	モニタリング コマンド	説明
ハードウェア		
シャーシ	<code>show chassis [adaptor  cmc  decommissioned  detail  environment  fabric  fi-iom  firmware  fsm  inventory  psu  version]</code>	シャーシ情報を表示します。
ファブリック インターコネク ト	<code>show fabric-interconnect[a  b ] [detail  environment  firmware  fsm  inventory  mac-aging  mode  version]</code>	ファブリック インターコネク トの情報を表示します。
FEX	<code>show fex [detail   firmware   fsm   inventory   version]</code>	ファブリック エクステンダの 情報を表示します。

管理対象オブジェクト	モニタリング コマンド	説明
IOM	<b>show iom</b> [firmware  health  version]	ファブリック入出力モジュールの情報を表示します。
サーバ	<b>show server</b> [actual-boot-order  adapter  assoc  bios  boot-order  cpu  decommissioned  environment  firmware  health  identity  inventory  memory  status  storage  version]	サーバ情報を表示します。
システム	<b>show system</b> [detail  firmware  version]	システム情報を表示します。
システム	<b>scope monitoring</b> [show] [baseline-faults  callhome  event  fault  fault-suppress-policy  fsm  mgmt-if-mon-policy  new-faults  snmp  snmp-trap  snmp-user  stats-collection-policy  stats-threshold-policy  syslog]	モニタリング モードのコマンドに関する情報を表示します。
ログ		
Event	<b>show event</b> [event-id   detail]	イベント ログを表示します。
Fault	<b>show fault</b> [fault-id   cause   detail   severity   suppressed]	障害ログを表示します。
SEL	<b>show sel</b> [chassis-id/blade-id   rack-id]	シャーシ、ブレード、またはラックマウント サーバのシステム イベント ログを表示します。
Syslog	<b>scope monitoring</b> [show ] [syslog]	Syslog を表示します。

## シャーシの管理

### シャーシのロケータ LED の電源投入

#### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# <b>scope chassis</b> シャーシ番号	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	UCS-A /chassis # <b>enable locator-led</b>	シャーシロケータ LED の電源を投入します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

### Example

次に、シャーシ2のロケータ LED の電源を投入し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # enable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #
```

## シャーシのロケータ LED の電源切断

### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# <b>scope chassis</b> シャーシ番号	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # <b>disable locator-led</b>	シャーシロケータ LED の電源を切断します。
ステップ 3	UCS-A /chassis # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

### Example

次に、シャーシ2のロケータ LED の電源を切断し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2
UCS-A /chassis # disable locator-led
UCS-A /chassis* # commit-buffer
UCS-A /chassis #
```

## ブレードサーバの管理

### ブレードサーバのロケータ LED の電源投入

#### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>chassis-num / server-num</i>	指定したシャーシでシャーシ サーバーモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>enable locator-led</b> [ <b>multi-master</b>   <b>multi-slave</b> ]	ブレードサーバのロケータ LED の電源を投入します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

#### Example

次に、シャーシ 2 のブレードサーバ 4 のロケータ LED の電源を投入し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope server 2/4
UCS-A /chassis/server # enable locator-led
UCS-A /chassis/server* # commit-buffer
UCS-A /chassis/server #
```

### ブレードサーバのロケータ LED の電源切断

#### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>chassis-num / server-num</i>	指定したシャーシでシャーシモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>disable locator-led</b> [ <b>multi-master</b>   <b>multi-slave</b> ]	ブレードサーバのロケータ LED の電源を切断します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

**Example**

次に、シャーシ 2 のブレード サーバ 4 のロケータ LED の電源を切断し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 2/4
UCS-A /chassis/server # disable locator-led
UCS-A /chassis/server* # commit-buffer
UCS-A /chassis/server #
```

## ラックマウント サーバの管理

### ラックマウント サーバのロケータ LED の電源投入

**手順**

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>server-num</i>	指定したラックマウントサーバーでサーバー モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # <b>enable locator-led</b>	ラックマウント サーバのロケータ LED の電源を投入します。
ステップ 3	UCS-A /server # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

**例**

次に、ラックマウント サーバ 2 のロケータ LED の電源を投入し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope server 2
UCS-A /server # enable locator-led
UCS-A /server* # commit-buffer
UCS-A /server #
```

## ラックマウント サーバーのロケータ LED の電源切断

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>server-num</i>	指定したラックマウントサーバーでサーバー モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # <b>disable locator-led</b>	ラックマウント サーバーのロケータ LED の電源を切断します。
ステップ 3	UCS-A /server # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

### 例

次に、ラックマウント サーバー 2 のロケータ LED の電源を切断し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope server 2
UCS-A /server # disable locator-led
UCS-A /server* # commit-buffer
UCS-A /server #
```

## ラックマウント サーバーのステータスの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>show server status</b>	Cisco UCS ドメイン内にあるすべてのサーバーのステータスを表示します。

### 例

次に、Cisco UCS ドメイン内にあるすべてのサーバーのステータスを表示する例を示します。番号が 1 および 2 のサーバーは、ラックマウント サーバーであるため、表にスロットが示されていません。

```
Server Slot  Status      Availability  Overall Status  Discovery
-----
1/1          Equipped    Unavailable   Ok              Complete
1/2          Equipped    Unavailable   Ok              Complete
1/3          Equipped    Unavailable   Ok              Complete
1/4          Empty       Unavailable   Ok              Complete
1/5          Equipped    Unavailable   Ok              Complete
```

1/6	Equipped	Unavailable	Ok	Complete
1/7	Empty	Unavailable	Ok	Complete
1/8	Empty	Unavailable	Ok	Complete
1	Equipped	Unavailable	Ok	Complete
2	Equipped	Unavailable	Ok	Complete

## ファン モジュールのモニタリング

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope chassis chassis-num</b>	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # <b>show environment fan</b>	シャーシ内のすべてのファンの環境ステータスを表示します。 これには次の情報が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体のステータス</li> <li>• 運用性</li> <li>• 電源の状態</li> <li>• 温度ステータス</li> <li>• しきい値ステータス</li> <li>• 電圧ステータス</li> </ul>
ステップ 3	UCS-A /chassis # <b>scope fan-module tray-num module-num</b>	指定したファン モジュールでモジュールシャーシモードを開始します。  (注) 各シャーシには、1つのトレイが含まれるため、このコマンドのトレイ番号は常に 1 です。
ステップ 4	UCS A/chassis/fan-module # <b>show [detail  expand]</b>	指定したファンモジュールの環境ステータスを表示します。

### 例

次に、シャーシ 1 のファン モジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 1
UCS-A /chassis # show environment fan
Chassis 1:
```

```
Overall Status: Power Problem
Operability: Operable
Power State: Redundancy Failed
Thermal Status: Upper Non Recoverable
```

```
Tray 1 Module 1:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

```
Fan Module Stats:
  Ambient Temp (C): 25.000000
```

```
Fan 1:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

```
Fan 2:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

```
Tray 1 Module 2:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

```
Fan Module Stats:
  Ambient Temp (C): 24.000000
```

```
Fan 1:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

```
Fan 2:
  Threshold Status: OK
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Power State: On
  Thermal Status: OK
  Voltage Status: N/A
```

次に、シャーシ1のファンモジュール2に関する情報を表示する例を示します。

```
UCS-A# scope chassis 1
UCS-A /chassis # scope fan-module 1 2
```



```
UCS-A /chassis/fan-module # show detail
Fan Module:
  Tray: 1
  Module: 2
  Overall Status: Operable
  Operability: Operable
  Threshold Status: OK
  Power State: On
  Presence: Equipped
  Thermal Status: OK
  Product Name: Fan Module for UCS 5108 Blade Server Chassis
  PID: N20-FAN5
  VID: V01
  Vendor: Cisco Systems Inc
  Serial (SN): NWG14350B6N
  HW Revision: 0
  Mfg Date: 1997-04-01T08:41:00.000
```

## 管理インターフェイスのモニタリング

### 管理インターフェイス モニタリング ポリシー

管理インターフェイス モニタリング ポリシーでは、ファブリック インターコネクットの mgmt0 イーサネット インターフェイスをモニタする方法を定義します。Cisco UCS Managerによって管理インターフェイスの障害が検出されると、障害レポートが生成されます。障害レポートの数が設定された数に達した場合、システムは管理インターフェイスが使用不能であると見なし、障害を生成します。デフォルトでは、管理インターフェイス モニタリング ポリシーは有効です。

その時点で管理インスタンスであるファブリック インターコネクットの管理インターフェイスに障害が発生した場合、Cisco UCS Manager はまず、下位のファブリック インターコネク트가 アップ状態であるかどうかを確認します。さらに、ファブリック インターコネク트에 対して記録されている障害レポートがその時点でない場合、Cisco UCS Manager はエンドポイントの管理インスタンスを変更します。

影響を受けるファブリック インターコネク트가 ハイ アベイラビリティ設定でプライマリに設定されている場合、管理プレーンのフェールオーバーがトリガーされます。このフェールオーバーはデータプレーンに影響しません。管理インターフェイスのモニタリングに関連している次のプロパティを設定できます。

- 管理インターフェイスのモニタに使用されるメカニズムのタイプ。
- 管理インターフェイスのステータスがモニタされる間隔。
- 管理が使用できないと判断し障害メッセージを生成する前にシステムの失敗を許容するモニタリングの最大試行回数。



**重要** ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスに障害が発生した場合、次のいずれかが発生したときは、管理インスタンスを変えないことがあります。

- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンド ポイントへのパスが存在しない。
- 従属ファブリック インターコネクットの管理インターフェイスが失敗した。
- 従属ファブリック インターコネクット経由のエンド ポイントへのパスが失敗した。

## 管理インターフェイス モニタリング ポリシーの設定

### 手順

**ステップ 1** モニタリング モードを開始します。

```
UCS-A# scope monitoring
```

**ステップ 2** 管理インターフェイスモニタリングポリシーをイネーブルにするか、ディセーブルにします。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy admin-state {enabled | disabled}
```

**ステップ 3** システムがデータの記録の間で待機する秒数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy poll-interval
```

90 ~ 300 の整数を入力します。

**ステップ 4** 管理インターフェイスが使用できないと判断し障害メッセージを生成する前にシステムの失敗を許容するモニタリングの最大試行回数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy max-fail-reports num: mon-試行
```

2 ~ 5 の整数を入力します。

**ステップ 5** システムが使用するモニタリングメカニズムを指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy monitor-mechanism {mii-status | ping-arp-targets | ping-gateway}
```

- **mii-status** —システムはメディア独立型インターフェイス (MII) のアベイラビリティをモニタします。
- **ping-arp-targets** —システムは Address Resolution Protocol (ARP) を使用して指定されたターゲットに ping を送信します。
- **ping-gateway** —システムは管理インターフェイスでこの Cisco UCS ドメインインスタンスに指定されたデフォルト ゲートウェイ アドレスに ping を送信します。

**ステップ 6** モニタリングメカニズムとして **mii-status** を選択した場合、次のプロパティを設定します。

- a) 前回の試行が失敗したとき、もう一度 MII からの応答を要求する前にシステムが待機する秒数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy mii-retry-interval num-seconds
```

3 ~ 10 の範囲の整数を入力します。

- b) インターフェイスが使用不能であるとシステムが判断するまでにシステムが MII をポーリングする回数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy mii-retry-count num-retries
```

1 ~ 3 の整数を入力します。

**ステップ 7** モニタリング メカニズムとして **ping-arp-targets** を選択した場合、次のプロパティを設定します。

- a) システムが ping する最初の IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy {arp target1 | ndisc target1} {ipv4 addr | ipv6 addr}
```

IPv4 アドレスに 0.0.0.0 と入力すると、ARP ターゲットが削除されます。または IPv6 アドレスの場合は N-disc ターゲットが削除されます。

- b) システムが ping する第 2 の IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy {arp target2 | ndisc target2} {ipv4 addr | ipv6 addr}
```

IPv4 アドレスに 0.0.0.0 と入力すると、ARP ターゲットが削除されます。または IPv6 アドレスの場合は N-disc ターゲットが削除されます。

- c) システムが ping する第 3 の IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy {arp target3 | ndisc target3} {ipv4 addr | ipv6 addr}
```

IPv4 アドレスに 0.0.0.0 と入力すると、ARP ターゲットが削除されます。または IPv6 アドレスの場合は N-disc ターゲットが削除されます。

(注) ping IPv4 ARP または IPv6 N ディスク ターゲットは、ファブリック インターコネクと 同じサブネット またはプレフィクスにそれぞれある必要があります。

- d) ターゲット IP アドレスに送信する ARP 要求の数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy arp-requests num 要求
```

1 ~ 5 の整数を入力します。

- e) 使用不能と見なす前にシステムが ARP ターゲットからの応答を待機する秒数を指定します。

```
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy arp-deadline num-seconds
```

5 ~ 15 の範囲内の数を入力してください。

**ステップ 8** モニタリングメカニズムとして **ping-gateway** を選択した場合、次のプロパティを設定します。

- a) システムがゲートウェイに ping を実行する必要がある回数を指定します。

UCS-A /monitoring # **set mgmt-if-mon-policy ping-requests**

1～5の整数を入力します。

- b) アドレスが使用不能であるとシステムが判断するまでゲートウェイからの応答を待機する秒数を指定します。

UCS-A /monitoring # **set mgmt-if-mon-policy ping-deadline**

5～15の整数を入力します。

### ステップ9 UCS-A /monitoring # **commit-buffer**

トランザクションをシステムの設定にコミットします。

#### 例

次に、メディア独立型インターフェイス (MII) モニタリング メカニズムを使用してモニタリングインターフェイス管理ポリシーを作成し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope monitoring
UCS-A /monitoring # set mgmt-if-mon-policy admin-state enabled
UCS-A /monitoring* # set mgmt-if-mon-policy poll-interval 250
UCS-A /monitoring* # set mgmt-if-mon-policy max-fail-reports 2
UCS-A /monitoring* # set mgmt-if-mon-policy monitor-mechanism set mii-status
UCS-A /monitoring* # set mgmt-if-mon-policy mii-retry-count 3
UCS-A /monitoring* # set mgmt-if-mon-policy mii-retry-interval 7
UCS-A /monitoring* # commit-buffer
UCS-A /monitoring #
```

## ローカルストレージのモニタリング

Cisco UCSでのローカルストレージのモニタリングでは、ブレードまたはラックサーバに物理的に接続されているローカルストレージに関するステータス情報を提供します。これには、RAIDコントローラ、物理ドライブおよびドライブグループ、仮想ドライブ、RAIDコントローラ バッテリ (バッテリー バックアップ ユニット)、Transportable Flash Module (TFM)、スーパーキャパシタ、FlexFlash コントローラおよびSDカードが含まれます。

Cisco UCS Manager は、アウトオブバンドインターフェイスを使用して LSI MegaRAID コントローラおよび FlexFlash コントローラと直接通信するため、リアルタイムの更新が可能になります。表示される情報には次のようなものがあります。

- RAID コントローラ ステータスと再構築レート。
- 物理ドライブのドライブの状態、電源状態、リンク速度、運用性およびファームウェアバージョン。
- 仮想ドライブのドライブの状態、運用性、ストリップのサイズ、アクセスポリシー、ドライブのキャッシュおよびヘルス。

- BBU の運用性、それがスーパーキャパシタまたはバッテリーであるか、および TFM に関する情報。  
LSI ストレージ コントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。
- SD カードおよび FlexFlash コントローラに関する情報 (RAID のヘルスおよび RAID の状態、カードヘルスおよび運用性を含む)。
- 再構築、初期化、再学習などストレージ コンポーネント上で実行している操作の情報。



---

(注) CIMC のリブートまたはビルドのアップグレード後は、ストレージ コンポーネント上で実行している操作のステータス、開始時刻および終了時刻が正しく表示されない場合があります。

---

- すべてのローカル ストレージ コンポーネントの詳細な障害情報。



---

(注) すべての障害は、[Faults] タブに表示されます。

---

## ローカル ストレージ モニタリングのサポート

サポートされるモニタリングのタイプは、Cisco UCS サーバによって異なります。

### ローカル ストレージ モニタリングについてサポートされる Cisco UCS サーバ

Cisco UCS Manager を使用して、次のサーバについてローカル ストレージ コンポーネントをモニタできます。

- Cisco UCS B200 M6サーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B22 M3 ブレード サーバ

Cisco UCS Manager を使用して、次のラック サーバについてローカル ストレージ コンポーネントをモニタリングできます。

- Cisco UCS C420 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C240 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C220 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C24 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C22 M3 ラック サーバ
- Cisco UCS C220 M4 ラック サーバ
- Cisco UCS C240 M4 ラック サーバ
- Cisco UCS C460 M4 ラック サーバ
- Cisco UCS C220 M5 サーバ
- Cisco UCS C240 M5 サーバ
- Cisco UCS C480 M5 サーバ
- Cisco UCS C220 M6サーバ
- Cisco UCS C240 M6サーバ
- Cisco UCS C225 M6サーバ
- Cisco UCS C245 M6サーバ



(注) すべてのサーバがすべてのローカル ストレージ コンポーネントをサポートするわけではありません。Cisco UCS ラック サーバの場合は、マザーボードに組み込まれたオンボード SATA RAID 0/1 コントローラはサポートされません。

## ローカル ストレージ モニタリングの前提条件

これらの前提条件は、有益なステータス情報を提供するため行われるローカル ストレージ モニタリングやレガシー ディスク ドライブ モニタリングの際に満たす必要があります。

- ドライブがサーバ ドライブ ベイに挿入されている。
- サーバの電源が投入されている。
- サーバが検出を完了している。
- BIOS POST の完了結果が正常である。

## レガシー ディスク ドライブのモニタリング



(注) 以下の情報は、B200 M1/M2 および B250 M1/M2 ブレード サーバにのみ適用されます。

Cisco UCS のディスク ドライブのモニタリングは、Cisco UCS ドメイン 内のサポートされているブレードサーバについて、ブレードに存在するディスク ドライブのステータスを Cisco UCS Manager に提供します。ディスク ドライブ モニタリングは、ステータス情報提供のために LSI ファームウェアから Cisco UCS Manager への単方向障害の信号を提供します。

次のサーバ コンポーネントおよびファームウェア コンポーネントが、サーバ内のディスク ドライブ ステータスに関する情報の収集、送信、および集約を行います。

- 物理的なプレゼンスセンサー：ディスク ドライブがサーバドライブ ベイに挿入されているかどうかを調べます。
- 物理的な障害センサー：ディスク ドライブの LSI ストレージ コントローラ ファームウェアからレポートされる操作可能性のステータスを調べます。
- IPMI ディスク ドライブの障害およびプレゼンス センサー：センサーの結果を Cisco UCS Manager に送信します。
- ディスク ドライブの障害 LED 制御および関連する IPMI センサー：ディスク ドライブの障害 LED の状態（オン/オフ）を制御し、それらの状態を Cisco UCS Manager に伝えます。

## ローカル ディスク ロケータ LED のオン

### 手順

#### ステップ 1 UCS-A # **scope server id**

指定したサーバのサーバ モードを開始します。

#### ステップ 2 UCS-A/server # **scope local-disk id**

指定されたローカル ディスクの RAID コントローラを入力します。

#### ステップ 3 UCS-A /server/local-disk # **enable locator-led**

ディスク ロケータ LED をオンにします。

#### ステップ 4 UCS-A/server/local-disk\* # **commit-buffer**

コマンドをシステムの設定にコミットします。

### 例

次に、ローカル ディスク ロケータ LED をオンにする例を示します。

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server/raid-controller # scope local-disk 2
USA-A /server/raid-controller/local-disk # enable locator-led
USA-A /server/raid-controller/local-disk* # commit-buffer
```

## ローカル ディスク ロケータ LED のオフ

### 手順

---

#### ステップ 1 UCS-A# **scope server id**

指定したサーバのサーバ モードを開始します。

#### ステップ 2 UCS-A/server # **scope local-disk id**

指定されたローカル ディスクの RAID コントローラを入力します。

#### ステップ 3 UCS-A/server/local-disk # **disable locator-led**

ディスク ロケータ LED をオフにします。

#### ステップ 4 UCS-A/server/raid-controller/local-disk\* # **commit-buffer**

コマンドをシステムの設定にコミットします。

---

### 例

次に、ローカル ディスク ロケータ LED を無効化する例を示します。

```
UCS-A# server 1
UCS-A /server # scope local-disk 2
USA-A /server/local-disk # disable locator-led
USA-A /server/local-disk* # commit-buffer
```

## ローカル ディスク ロケータ LED の状態の表示

### 手順

---

#### ステップ 1 UCS-A# **scope server id**

指定したサーバのサーバ モードを開始します。



**ステップ 2** UCS-A/server # **scope local-disk id**

指定されたローカル ディスクの RAID コントローラを入力します。

**ステップ 3** UCS-A/server/local-disk # **show locator-led**

ディスク ロケータ LED の状態を表示します。

**例**

次の例は、ローカル ディスク ロケータ LED の状態がオンになっていることを示しています。

```

USA-A# scope server 1
USA-A /server # scope local-disk 2
USA-A /serverlocal-disk # show locator-led
Locator LED:
  Equipment          Operational State
  -----
  1/SAS-1/2         On

```

## フラッシュ ライフ ウェア レベル モニタリング

フラッシュ ライフ ウェア レベル モニタリングによって、ソリッド ステート ドライブの寿命をモニタできます。フラッシュ ライフ残量の割合とフラッシュ ライフの状態の両方を表示できます。ウェア レベル モニタリングは次の Cisco UCS ブレード サーバのフュージョン IO メザニン カードでサポートされます。

- Cisco UCS B22 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B260 M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B460 M4 ブレード サーバ



(注) ウェア レベル モニタリングの必須事項は次のとおりです。

- Cisco UCS Manager がリリース 2.2(2a) 以降である。
- フュージョン IO メザニン カードのファームウェアのバージョンが 7.1.15 以降である。

## Flash 寿命ステータスの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server chassis-id / server-id</b>	指定サーバーのシャーシサーバー モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>show raid-controller detail expand</b>	RAID コントローラの詳細を表示します。

### 例

次に、サーバ 3 の Flash 寿命ステータスを表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/3
UCS-A /chassis/server # show raid-controller detail expand
```

```
RAID Controller:
  ID: 1
  Type: FLASH
  PCI Addr: 131:00.0
  Vendor: Cisco Systems Inc
  Model: UCSC-F-FIO-1205M
  Serial: 1315D2B52
  HW Rev: FLASH
  Raid Support: No
  OOB Interface Supported: No
  Rebuild Rate: N/A
  Controller Status: Unknown

Flash Life:
  Flash Percentage: N/A
  FLash Status: Error(244)
```

```
UCS-A /chassis/server #
```

## ローカルストレージコンポーネントのステータスの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server chassis-id / server-id</b>	指定サーバーのシャーシサーバー モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>show inventory storage</b>	サーバのローカルおよび仮想ストレージの情報を表示します。

## 例

次に、サーバ 2 のローカル ディスク ステータスを表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/2
UCS-A /chassis/server # show inventory storage
Server 1/2:
  Name:
  User Label:
  Equipped PID: UCSB-B200-M3
  Equipped VID: V01
  Equipped Serial (SN): FCH16207KXG
  Slot Status: Equipped
  Acknowledged Product Name: Cisco UCS B200 M3
  Acknowledged PID: UCSB-B200-M3
  Acknowledged VID: V01
  Acknowledged Serial (SN): FCH16207KXG
  Acknowledged Memory (MB): 98304
  Acknowledged Effective Memory (MB): 98304
  Acknowledged Cores: 12
  Acknowledged Adapters: 1
  Motherboard:
    Product Name: Cisco UCS B200 M3
    PID: UCSB-B200-M3
    VID: V01
    Vendor: Cisco Systems Inc
    Serial (SN): FCH16207KXG
    HW Revision: 0

  RAID Controller 1:
    Type: SAS
    Vendor: LSI Logic Symbios Logic
    Model: LSI MegaRAID SAS 2004 ROMB
    Serial: LSIROMB-0
    HW Revision: B2
    PCI Addr: 01:00.0
    Raid Support: RAID0, RAID1
    OOB Interface Supported: Yes
    Rebuild Rate: 31
    Controller Status: Optimal

  Local Disk 1:
    Product Name: 146GB 6Gb SAS 10K RPM SFF HDD/hot plug/drive sled mounted
    PID: A03-D146GA2
    VID: V01
    Vendor: SEAGATE
    Model: ST9146803SS
    Vendor Description: Seagate Technology LLC
    Serial: 3SD31S4X
    HW Rev: 0
    Block Size: 512
    Blocks: 285155328
    Operability: Operable
    Oper Qualifier Reason: N/A
    Presence: Equipped
    Size (MB): 139236
    Drive State: Online
    Power State: Active
    Link Speed: 6 Gbps
    Device Type: HDD

  Local Disk 2:
```

## ローカルストレージコンポーネントのステータスの表示

```

Product Name: 600G AL12SE SAS Hard Disk Drive
PID: A03-D600GA2
VID: V01
Vendor: TOSHIBA
Model: MBF2600RC
Vendor Description: Toshiba Corporation
Serial: EA00PB109T4A
HW Rev: 0
Block Size: 512
Blocks: 1169920000
Operability: Operable
Oper Qualifier Reason: N/A
Presence: Equipped
Size (MB): 571250
Drive State: Online
Power State: Active
Link Speed: 6 Gbps
Device Type: HDD

```

```

Local Disk Config Definition:
Mode: RAID 1 Mirrored
Description:
Protect Configuration: No

```

```

Virtual Drive 0:
Type: RAID 1 Mirrored
Block Size: 512
Blocks: 285155328
Operability: Operable
Presence: Equipped
Size (MB): 139236
Lifecycle: Allocated
Drive State: Optimal
Strip Size (KB): 64
Access Policy: Read Write
Read Policy: Normal
Configured Write Cache Policy: Write Through
Actual Write Cache Policy: Write Through
IO Policy: Direct
Drive Cache: No Change
Bootable: False

```

```
UCS-A /chassis/server #
```

次に、PCIe\NVMeフラッシュストレージを備えたサーバ2のローカルディスクステータスを表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/2
```

```
UCS-A /chassis/server # show inventory storage
```

```
Server 1/2:
```

```
Name:
```

```

Acknowledged Serial (SN): FCH1901V0FK
Acknowledged Product Name: Cisco UCS C240 M4S2
Acknowledged PID: UCSC-C240-M4S2
Acknowledged VID: 0
Acknowledged Memory (MB): 16384
Acknowledged Effective Memory (MB): 16384
Acknowledged Cores: 24
Acknowledged Adapters: 4
Motherboard:
  Product Name: Cisco UCS C240 M4S2
  PID: UCSC-C240-M4S2
  VID: V01
  Vendor: Cisco Systems Inc

```

```
Serial (SN): FCH1901V0FK
HW Revision: 0

Raid Controller 1:
  Type: NVMe
  Vendor: HGST
  Model: HUSPR3280ADP301
  Serial: STM0001A74F2
  HW Revision:
  PCI Addr: 42:00.0
  Raid Support: No
  OOB Interface Supported: Yes
  Rebuild Rate: 0
  Controller Status: Optimal
```

```
Local Disk 2:
  Product Name: Cisco UCS 800GB 2.5 in NVMe based PCIeSSD
  PID: UCS-SDHPCIE800GB
  VID:
  Vendor: HGST
  Model: HUSPR3280ADP301
  Vendor Description:
  Serial: 14310CF8E975
  HW Rev: 0
  Block Size: 512
  Blocks: 285155328
  Operability: NA
  Oper Qualifier Reason: N/A
  Presence: Equipped
  Size: 94413
  Drive State: NA
  Power State: NA
  Link Speed: NA
  Device Type: SSD
  Thermal: N/A
```

UCS-A /chassis/server #

次に、Cisco UCS (P3600) 2.5 インチ 800 GB NVMe ベース PCIe SSD のローカルディスクステータスを表示する例を示します。

```
RAID Controller:
  ID: 1
  Type: NVME
  PCI Addr: 69:00.0
  Vendor: Intel
  Model: SSDPE2ME800G4K
  Serial: CVMD6083003D800GGN
  HW Rev:
  Raid Support: No
  OOB Interface Supported: Yes
  Mode: NVME
  Rebuild Rate: 0
  Controller Status: Optimal
  Config State: Not Applied
  Pinned Cache Status: Disabled
  Sub OEM ID: 0
  Supported Strip Sizes: Not Applicable
  Default Strip Size: Unknown
  PCI Slot: FrontPCIe5
  Product Variant: default
  Product Name: Cisco UCS (P3600) 2.5 inches 800 GB NVMe based PCIe SSD
  PID: UCS-PCI25-8003
  VID:
```

## ローカルストレージコンポーネントのステータスの表示

```

Part Number:
Storage Controller Admin State: Unspecified
Vendor Id: 0x8086
Subvendor Id: 0x1137
Device Id: 0x953
Subdevice Id: 0x15b
Current Task:

Local Disk:
  ID: 5
  Block Size: 512
  Physical Block Size: Unknown
  Blocks: 1562822656
  Size: 763097
  Technology:
  Operability: N/A
  Oper Qualifier Reason: N/A
  Presence: Equipped
  Connection Protocol: NVME
  Product Variant: default
  Product Name: Cisco UCS (P3600) 2.5 inches 800 GB NVMe based PCIe SSD
  PID: UCS-PCI25-8003
  VID:
  Vendor: Intel
  Model: SSDPE2ME800G4K
  Vendor Description:
  Serial: CVMD6083003D800GGN
  HW Rev: 0
  Drive State: Unknown
  Power State: Unknown
  Link Speed: Unknown
  Enclosure Association Type: Unknown
  Device Version: N/A
  Device Type: SSD
  Thermal: N/A
  Admin State Type: N/A
  Admin Virtual Drive ID: Unspecified
  Current Task:

```

次に、Cisco UCS (P3600) HHHH 2000 GB NVMe ベース PCIe SSD のステータスを表示する例を示します。

```

RAID Controller:
  ID: 3
  Type: NVME
  PCI Addr: 01:00.0
  Vendor: Intel
  Model: SSDPEDME020T401
  Serial: CVMD543200AQ2P0EGN
  HW Rev:
  Raid Support: No
  OOB Interface Supported: Yes
  Mode: NVME
  Rebuild Rate: 0
  Controller Status: Optimal
  Config State: Not Applied
  Pinned Cache Status: Disabled
  Sub OEM ID: 0
  Supported Strip Sizes: Not Applicable
  Default Strip Size: Unknown
  PCI Slot: 2
  Product Variant: default
  Product Name: Cisco UCS (P3600) HHHH 2000 GB NVMe based PCIe SSD
  PID: UCSC-F-I20003

```

```

VID:
Part Number:
Storage Controller Admin State: Unspecified
Vendor Id: 0x8086
Subvendor Id: 0x1137
Device Id: 0x953
Subdevice Id: 0x1ac
Current Task:

Embedded Storage:
  Size: 2000000
  Block Size: 512
  Number Of Blocks: 3906250000

```

## ディスク ドライブのステータスの確認

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope chassis</b> <i>chassis-num</i>	指定したシャーシのシャーシ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # <b>scope server</b> <i>server-num</i>	サーバー シャーシ モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server # <b>scope raid-controller</b> <i>raid-contr-id</i> { <b>sas</b>   <b>sata</b> }	RAID コントローラ サーバシャーシ モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /chassis/server/raid-controller # <b>show local-disk</b> [ <i>local-disk-id</i>   <b>detail</b>   <b>expand</b> ]	

### 例

次の例は、ディスク ドライブのステータスを示しています。

```

UCS-A# scope chassis 1
UCS-A /chassis # scope server 6
UCS-A /chassis/server # scope raid-controller 1 sas
UCS-A /chassis/server/raid-controller # show local-disk 1

Local Disk:
  ID: 1
  Block Size: 512
  Blocks: 60545024
  Size (MB): 29563
  Operability: Operable
  Presence: Equipped

```

## RAID コントローラ動作の表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server chassis-id / server-id</b>	指定サーバーのシャーシサーバーモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>show raid-controller operation</b>	RAID コントローラの長期実行動作が表示されます。

### 例

次に、サーバ 3 の RAID コントローラ動作を表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/3
UCS-A /chassis/server # show raid-controller operation

Name: Rebuild
Affected Object: sys/chassis-1/blade-3/board/storage-SAS-1/disk-1
State: In Progress
Progress: 4
Start Time: 2013-11-05T12:02:10.000
End Time: N/A

UCS-A /chassis/server #
```

## RAID コントローラ統計の表示

次の手順は、PCIe/NVMe フラッシュストレージを備えたサーバのコントローラ統計を表示するための方法を示しています。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server chassis-id / server-id</b>	指定サーバーのシャーシサーバーモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>scope raid-controller raid-contr-id {flash   sas   sata   sd   unknown}</b>	RAID コントローラ サーバ シャーシモードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server/raid-controller # <b>show stats</b>	RAID コントローラ統計を表示します。



## 例

次に、RAID コントローラ統計を表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/3
UCS-A /chassis/server # scope raid-controller
UCS-A /chassis/server/raid-controller # show stats

Nvme Stats:
  Time Collected: 2016-06-22T12:37:55.043
  Monitored Object: sys/rack-unit-6/board/storage-NVME-1/nvme-stats
  Suspect: Yes
  Temperature (C): 27.000000
  Life Used Percentage: 0
  Thresholded: 0

UCS-A /chassis/server/raid-controller #
```

## RAID バッテリ ステータスのモニタリング

この手順は、RAID 設定およびTFMをサポートする Cisco UCS サーバにのみ該当します。バッテリーバックアップユニット (BBU) が故障した場合、または故障すると予測される場合には、そのユニットをできるだけ早く交換する必要があります。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope chassis</b> シャーシ番号	指定したシャーシでシャーシ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis # <b>scope server server-num</b>	サーバー シャーシ モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server # <b>scope raid-controller raid-contr-id {flash   sas   sata   sd   unknown}</b>	RAID コントローラ サーバ シャーシ モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /chassis/server/raid-controller # <b>show raid-battery expand</b>	RAID バッテリ ステータスを表示します。

## 例

この例では、サーバの BBU に関する情報の表示方法を示します。

```
UCS-A # scope chassis 1
UCS-A /chassis #scope server 3
UCS-A /chassis/server #scope raid-controller 1 sas
UCS-A /chassis/server/raid-controller # show raid-battery expand
RAID Battery:
  Battery Type: Supercap
  Presence: Equipped
```

```
Operability: Operable
Oper Qualifier Reason:
Vendor: LSI
Model: SuperCaP
Serial: 0
Capacity Percentage: Full
Battery Temperature (C): 54.000000
```

```
Transportable Flash Module:
Presence: Equipped
Vendor: Cisco Systems Inc
Model: UCSB-RAID-1GBFM
Serial: FCH164279W6
```

## グラフィックスカードのモニタリング

### グラフィックスカードサーバサポート

Cisco UCS Managerを使用すると、特定のグラフィックスカードとコントローラのプロパティを表示できます。グラフィックスカードは、次のサーバでサポートされています。

- Cisco UCS C460 M4 ラック サーバ
- Cisco UCS B200M4 ブレード サーバ
- Cisco UCS B200 M5 サーバ
- Cisco UCS B480 M5 サーバ
- Cisco UCS C220 M5 サーバ
- Cisco UCS C240 M5 サーバ
- Cisco UCS C480 M5 サーバ
- Cisco UCS C225 M6サーバ
- Cisco UCS C245 M6サーバ



---

(注) 特定の NVIDIA グラフィック処理ユニット (GPU) では、エラー訂正コード (ECC) と vGPU の組み合わせはサポートされません。シスコでは、NVIDIA が公開しているそれぞれの GPU のリリース ノートを参照して、ECC と vGPU の組み合わせがサポートされているかどうか確認することを推奨しています。

---

## グラフィックス カードのプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-# <b>scope server blade-id</b>	指定したサーバのサーバ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # <b>show graphics-card detail</b>	グラフィックス カードに関する情報を表示します。

### 例

次に、サーバ 1 のグラフィックス カードのプロパティを表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # show graphics-card detail

ID: 1
Slot Id: 2
Magma Expander Slot Id:
Is Supported: Yes
Vendor: Cisco Systems Inc
Model: UCSB-GPU-M6
Serial: FHH1924002B
Mode: Graphics
PID: UCSB-GPU-M6
Firmware Version: 84.04.89.00.01|2754.0200.01.02
Vendor Id: 0x10de
Subvendor Id: 0x10de
Device Id: 0x13f3
Subdevice Id: 0x1143

UCS-A /server #
```

## グラフィックス コントローラのプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-# <b>scope server blade-id</b>	指定したサーバのサーバ モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # <b>scope graphics-card card-id</b>	指定したグラフィックス カードのグラフィックス カード モードを開始します。
ステップ 3	UCS A/server/graphics-card # <b>show graphics-controller detail</b>	グラフィックス コントローラに関する情報を表示します。

**例**

次に、サーバ1にあるグラフィックスカード1のグラフィックスコントローラのプロパティを表示する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # scope graphics-card 1
UCS-A /server/graphics-card # show graphics-controller detail
Graphics Controller:
  ID: 1
  Pci Address: 07:00.0

  ID: 2
  Pci Address: 08:00.0
UCS-A /server/graphics-card #
```

## PCI スイッチのモニタリング

### PCI スイッチ サーバ サポート

Cisco UCS Manager、PCI スイッチのプロパティを表示することができます。PCI スイッチは、次のサーバでサポートされます。

- Cisco UCS C480 M5 ML サーバー

### PCI スイッチ プロパティの表示

スイッチの PCI のプロパティは、PCI スイッチがサポートされているサーバのみに表示されます。

**手順**

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>server-num</i>	指定したサーバのサーバモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # <b>show pci-switch</b>	PCI スイッチに関する情報を表示します。
ステップ 3	UCS A/server # <b>scope pci-switch</b> <i>pci-switch-number</i>	指定された PCI スイッチの PCI スイッチモードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /server # <b>show detail</b>	

## 例

次の例では、PCI スイッチのプロパティを表示する方法を示します。

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # show pci-switch
Pci Switch:
ID Pci Switch name Firmware Version
-----
1 PCI-Switch-1 xxxx
2 PCI-Switch-2 xxxxxxxx
3 PCI-Switch-3 xxx
4 PCI-Switch-4 xxxxx
UCS-A /server # scope pci-switch 1
UCS-A /server/pci-switch #show detail

Pci Switch:
ID: 1
Pci Switch name: PCI-Switch-1
No of Adapters: 3
Switch Status: Good
Switch Temperature (C): 45.000000
Switch Product Revision: 0XxB
Firmware Version: xxxxx
Vendor Id: xxx
Subvendor Id: xxx
Device Id: xxxxx
Subdevice Id: xxxxx
Switch Vendor: xxxxxx
Pci Address: xx:00.0
UCS-A /server/pci-switch #
```

# Transportable Flash Module とスーパーキャパシタの管理

LSI ストレージコントローラは、スーパーキャパシタを備えた Transportable Flash Module (TFM) を使用して RAID キャッシュ保護を提供します。Cisco UCS Manager を使用すると、これらのコンポーネントをモニタしてバッテリーバックアップユニット (BBU) の状態を決定できます。BBU の動作状態は次のいずれかになります。

- [Operable] : BBU は正常に動作しています。
- [Inoperable] : TFM または BBU が欠落している、または BBU に障害が発生しており交換する必要があります。
- [Degraded] : BBU に障害が発生すると予測されます。

TFM およびスーパーキャパシタ機能は Cisco UCS Manager リリース 2.1(2) 以降でサポートされています。

## TFM とスーパーキャパシタの注意事項および制約事項

### TFM とスーパーキャパシタの制約事項

- Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバの TFM およびスーパーキャパシタの CIMC センサーは、Cisco UCS Manager によってポーリングされません。
- TFM およびスーパーキャパシタが Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバに搭載されていない、または搭載後にブレード サーバから取り外した場合、障害は生成されません。
- TFM は Cisco UCS B420 M3 ブレード サーバに搭載されていないが、スーパーキャパシタが搭載されている場合、Cisco UCS Manager によって BBU システム全体が欠落していると報告されます。TFM とスーパーキャパシタの両方がブレード サーバに存在することを物理的に確認する必要があります。

### TFM およびスーパーキャパシタについてサポートされる Cisco UCS サーバ

次の Cisco UCS サーバは TFM およびスーパーキャパシタをサポートしています。

## TPM モニタリング

トラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) は、すべての Cisco UCS M3 ブレードサーバやラックマウントサーバに搭載されています。オペレーティング システムでの暗号化に TPM を使用することができます。たとえば、Microsoft の BitLocker ドライブ暗号化は Cisco UCS サーバ上で TPM を使用して暗号キーを保存します。

Cisco UCS Manager では、TPM が存在しているか、イネーブルになっているか、有効またはアクティブになっているかどうかを含めた TPM のモニタリングが可能です。

## TPM のプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# <b>scope server</b> <i>chassis-id / server-id</i>	指定サーバーのシャーシサーバー モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # <b>scope tpm</b> <i>tpm-id</i>	指定された TPM ID の TPM モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server/tpm # <b>show</b>	TPM プロパティを表示します。
ステップ 4	UCS-A /chassis/server/tpm # <b>show detail</b>	TPM プロパティの詳細を表示します。

**例**

次の例では、シャーシ 1 のブレード 3 の TPM のプロパティを表示する方法を示します。

```
UCS-A# scope server 1/3
UCS-A /chassis/server # scope tpm 1
UCS-A /chassis/server/tpm # show

Trusted Platform Module:
  Presence: Equipped
  Enabled Status: Enabled
  Active Status: Activated
  Ownership: Unowned
UCS-A /chassis/server/tpm # show detail

Trusted Platform Module:
  Enabled Status: Enabled
  Active Status: Activated
  Ownership: Unowned
  Tpm Revision: 1
  Model: UCSX-TPM1-001
  Vendor: Cisco Systems Inc
  Serial: FCH16167DBJ
UCS-A /chassis/server/tpm #
```





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。